

NEWS LETTER



名古屋 YWCA 国際交流会
2015年12月

早いものでもう今年も残すところ後 1 ヶ月。なにかと慌ただしい季節になりましたが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと思います。これまでの活動報告とこれからの予定をお知らせします

例会報告

10月31日(土) 12:30~

協議事項:

- ① 来年度の計画、目標
基本的な活動は今年度同様
日本語サロンは年3回
予算も例年どおり

外国人が話す日本語サロン

次回

『樊さんと太極拳をしましょう』

12月12日(土) 10:30~12:00

ゲスト: 樊 猛 さん

詳しくはチラシをご覧ください

YWCA関連

秋のバザーは 10月9日盛況のうちに終了しました。お手伝いお疲れさまでした

名古屋大学関連

秋期新留学生の登録と NUFSA バザーのお手伝いは無事に終了しました
皆さまお疲れ様でした

おしゃべり広場

10月19日から新学期のおしゃべり広場がスタートしました
ポリビア人、イタリア人、ペルー人など楽しいお話で盛り上がっています
11月30日はペルー人のルイスさんからサルサを教えてください

今年は 12月14日が最終、来年は 1月18日から始まります

日本語学校行事

クリスマスパーティ

日時： 12月11日(金) 9:15~12:30

国際交流会は例年どおりハンドベルを披露します

楽しい会になると思います

皆さんご参加ください

日本語サロン報告

「母国ベナン共和国で叶えたい私の夢」

ゲスト：アブア・クアミ・オセンス・メラドさん

本日のメラドさんは濃いパーマネントグリーン(黄緑)の布地の上下の服装で中心にアクセントの縦の模様が入っている。帽子はつばのない丸い筒型でローアンバー(こげ茶)の地に刺繍がしてある。そして上着の両脇に10cmくらいのスリットが入っている。この上下服はBAZINという。

彼の4つの名前はアブアが苗字で後の3つは名前(ファーストネーム)である。

日本語はベナンにいるときから勉強していた。

名古屋へ来たのはベナンで働いていた時の社長が名古屋の社長だったから。

ベナン共和国	面積	112,622 km ²
	人口	1,060,556 人

・ベナンは北にニジェール、西にトーゴ、東にナイジェリア、南はギニア湾に面している。アフリカの西部にあり、南北に長い国である。日本はベナンの人口の12倍で、日本から20時間かかる。

・国旗は右約2/5が緑色、左の上半分が黄色、下半分が赤である。緑は独立と未来の希望、黄色は国の富、赤は血と先祖の勇気を表している。

・以前はフランスの植民地だった。独立記念日は1960年8月1日。1975年まではダホメー共和国、現在はベナン共和国。

・公用語はフランス語。その他には12語あり、主な国語はフォン語、ヨルバ語、ミナ語である。最近では小学校からベナン語を教えている。

・現在の大統領はトマ・ヤイ・ボニ氏

・首都	政治的な首都	ポルトノボ
	経済的な首都	コトヌー
	歴史的な首都	アボメ

その他、面白い町に大きな湖の上の舟の町。発展していない町もある。

・それは気温が高く水が少ないため。人はそのため病気になることが多い。特に子供の死亡率が高い。その上、児童労働がある。小中学校は無料だが、毎日の生活費が足りない。そのため子供は学校に行けない。日本で有名なベナン人のタレント、ゾマホン・ルフィンがベナンで「たけし日本語学校」を作った。

・四季はないが乾期と雨期があり、果物や野菜が豊富である。たとえばいろいろな

バナナがあり、赤いバナナもある。

• 主な料理の例

野菜とソースとトウモロコシの白いごはん

野菜とソースとトウモロコシの赤いごはん

野菜とソースとキャッサバを粉にして作った黒いごはん がある。

• その他

ベナン人は踊るのが好きである

フランス語で学ばなければならない

大学を出ても仕事がない

• メラドさんの夢

- ① ベナンで大学を作りたい。これは校舎を建てるということではなく、大学のシステムを改めたい。教科書は外国のものを使っているし、重要なことを教えていないと考えるから。
- ② 人工衛星を作ること。携帯やパソコンが便利でないから。

最後に日本語サロンの参加者からメラドさんへの質問

① 外国語を学ぶにはどうしたらいいと思うか？

→子供の時から毎日少しずつ学ぶのもよいが、やはりその国に行ってネイティブの人たちと話す機会をいっぱい作るのが一番いいと思う。

② いつから日本に興味を持ったか？

→高校生の頃。友だちが日本に来ていた。それで友だちを頼って来た。

日本ではアフリカは戦争ばかりやっているように思われているが、そうではないとメラドさんは言いました。

